

令和5年度 国語 第1学年 評価計画

単元	教材名	配当 時数	教材目標	学習活動の流れ	評価規準(例)
一	ふしぎ	1		1 『ふしぎ』の魅力やおもしろさについて考え、互いに発表し合う。	【知識・技能】事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを互いに発表し合い、確かなものになっている。C(1)オ 【態度】すすんで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
	桜蝶	4	●文学作品の構成や展開を描写をもとに理解する。	1 「学びナビ」を読み、文学作品の特徴について述べられていることを理解する。その後、『桜蝶』AとBを読み、構成や展開、描写の仕方にどのような違いがあるかを考える。 2 『桜蝶』Aを読み、描写をもとに登場人物の相互関係や心情の変化を捉える。 3 『桜蝶』Bを読み、描写をもとに登場人物の相互関係や心情の変化を捉える。 4 『桜蝶』AとBの構成や展開の違いと読み手に与える印象の違いとの関わりを捉え、物語や小説を読むときにどのような点に注目すべきかについて、自分なりに考えたことを発表し合う。	【知識・技能】事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写（特に二つの文章の描かれ方の違い）をもとに捉えている。C(1)イ 【態度】粘り強く二つの文章を読み比べながら、場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
	【話す聞く】 お気に入りの一品を紹介する	話 聞 2	●伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。	(お気に入りの一品を決め、実物や写真などを用意しておく。) 1 話す内容と項目を決め、スピーチ用のメモを作成したあと、各自で練習をする。 2 第1時の練習を踏まえて思いを効果的に伝えるための工夫を考え、ペアでスピーチを聞き合い、よかったところを伝え合う。	【知識・技能】事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中からお気に入りの一品について話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【態度】すすんで日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理して伝える内容を検討し、学習課題にそって伝え合おうとしている。

	<p>文法の小窓 1 言葉の単位</p> <p>文法（解説）1 言葉の単位</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ●文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 P27『文法の小窓1』を読み、「わたしは やまに のぼる。」「とりが そらを とぶ。」が句点で二つの文にくぎられていること、分ち書きでさらにくぎられていることを確認したあと、P272を読み、「文」と文の集合である「文章」、「段落」についての理解を深め、P273の「考えてみよう」に取り組む。 2 P273を読み、「文」を構成する「文節」と「単語」について理解を深めたあと、『文法の小窓1』のハルの最後のせりふに注目させ、P274を読む。進行の具合によって、「文」もしくは「文節」の観察を行い、観察結果と捉え方について、意見の交流を行う。 	<p>【知識・技能】単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ</p> <p>【態度】積極的に言葉の単位について理解するとともに、見通しをもってその役割を考えようとしている。</p>
二	<p>自分の脳を知っていますか</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ●文章の中心的部分に着目し、内容を捉える。 ●文章の構成を捉え、要約に生かす。 ●「脳の奇妙な癖」を理解し、筆者の考えをまとめる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学びナビ」を確認する。全文を通読し、クッキーを使った二つの実験の説明によって、筆者が伝えようとする内容を捉える。 2 「おとり効果」と呼ばれる現象には、脳のどのようなはたらきが関わっているのかを考え、「脳の奇妙な癖」について理解する。 3 「脳の奇妙な癖」について「おとり効果」の有効な点と問題点を整理する。 4 第3時で整理したことを踏まえて、筆者の考えを文章にまとめる。 5 文章にまとめたものを学習者どうしで読み合い、相互評価する。 	<p>【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに筆者の考えを捉え、要旨を把握している。C(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。C(1)ウ</p> <p>【態度】粘り強く文章の要旨を把握し、学習課題にそって筆者の考えをまとめようとしている。</p>
	<p>【書く】 資料から得た根拠をもとに意見文を書く</p>	書 6	<ul style="list-style-type: none"> ●資料を比較して共通点と相違点を見つける。 ●考えの中心を明確にして、段落構成を考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解し、日常生活や自身の興味・関心をもとに取り上げる話題と主張したいことを決める。 2 自分が取り上げた話題について調査した資料を比較して、共通点や相違点を整理する。 3 2で整理した共通点や相違点をもとに、根拠を明確にして文章の構成を考える。 4 3で考えた構成に従って文章を書く。 5 根拠と主張のつながりに注意して推敲する。 6 生徒どうしで書いたものを交流し、資料の読み取りや構成の工夫について確認し合う。 	<p>【知識・技能】比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように複数の資料を比較するとともに、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。B(1)イ</p> <p>【態度】すすんで情報の整理の仕方について理解し、学習課題にそって共通点や相違点を根拠にしながらかえたことを書こうとしている。</p>

	漢字の広場 1 漢字の部首	1	●漢字の部首についての理解を深める。	1 「部首」という概念を理解し、漢字の「部首」を確認したり、「形」から「義」や「音」を類推したりする。	【知識・技能】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ 【態度】積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
	言葉の小窓 1 日本語の音声 言葉（解説）1 日本語の音声	2	●日本語の音の特徴を理解する。	1 教科書P46を読み、「little」を音符に合わせて書くのがなぜ難しいのかという疑問を共有する。P261の「日本語と英語の音節」を読み、日本語と英語に違いがあることを確認する。P260「やってみよう」、P261「五十音図」を読み、日本語の「子音」と「母音」の違いや、音の特徴について理解する。 2 P262～263を読み、「アクセント」「イントネーション」を変化させることによって、どのように意味が変わるのか、またそれによってコミュニケーションにどのような影響が出るのか考える。	【知識・技能】音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア 【態度】積極的に音声のはたらきや仕組みを理解し、学習の見通しをもって日本語の音の特徴について理解を深めようとしている。
	【話す聞く】 内容を整理して説明する	話聞 4	●聞き手がわかりやすいように、話す内容を整理して表現する。 ●相手の反応を見ながら、話す内容を工夫して伝える。	1 「学びナビ」を読み、「関係づける」ことについて理解する。「未来の自分がどうありたいか」を具体的にイメージし、その過程での迷いや悩みを乗り越える「名言」や「印象深い言葉」の情報を集める。 2 ワークシートに「名言」や「印象深い言葉」を記入し、ありたい自分になるための具体的な計画を考え、説明する手順を整理する。 3 自分の計画をわかりやすく説明する。聞き手の反応を見ながら話す内容や順番を変える。 4 互いの発表についてよかった点や改善点を話し合い、よりよい話し方、聞き方について学び合う。	【知識・技能】比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように話す内容や順番などの表現を工夫している。A(1)ウ 【態度】粘り強く相手の反応を踏まえながら表現を工夫するとともに、学習課題にそって伝えたいことを話そうとしている。
三	ベンチ	4 (書1)	●本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。	1 作品を読み、「ベンチ」の表す状況を捉えて、自分なりの課題をもつ。 2・3 「みちるべ」の説明にそって、情報の集め方を理解する。 4 効果的な表現を考えながら、作品の帯やポップを作成する。	【知識・技能】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。C(1)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【態度】すすんで読書が考えを広げることに関与することを理解し、学習の見通しをもって考えたことを提案しようとしている。
	全ては編集されている／写真で	2 (書)	●写真を見るときの観点を知り、写真の特	1 『全ては編集されている』を読み、内容を整理し、「編集」されているものについて考える。「学びナビ」を使い、写真もまた編集されているものであることを確認すると同時に、写真を見る観点について理解する。「何を切り取るか」を使い、対象の写真	【知識・技能】比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ

	「事実」を表現する	1)	<ul style="list-style-type: none"> ● 徴を理解する。 ● 写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。 	<p>が何を切り取っているのかを考える。「写真の情報を整理する」で、写真の題名を考える。</p> <p>2 「写真を組み合わせる順序を考える」を使い、四場面の物語を完成させる。</p>	<p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。C(1)ウ</p> <p>【態度】情報の扱い方についての理解を深め、目的に応じて適切に情報を読み取り、伝えたい情報を明確に表現しようとしている。</p>
	漢字の広場 2 画数と活字の字体	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 画数と活字の字体についての理解を深める。 	<p>1 実際に文字を書き記すための基準となる「教科書体」の活字に着目し、正確な画数と字形に基づいた文字を書く態度を身につけるとともに、画数をもとに漢和辞典の総画索引や部首索引を使用する方法を練習する。</p>	<p>【知識・技能】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ</p> <p>【態度】積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。</p>
	【書く】 材料を整理して案内文を書く	書 5	<ul style="list-style-type: none"> ● 集めた材料を分類・整理して、伝えたいことを明確にする。 ● 目的や意図を意識して、案内文を書く。 	<p>1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解し、誰に何を案内するのかを考え、必要な情報を集めて整理する。</p> <p>2 案内文の構成を考える。</p> <p>3 相手や目的を意識しながら案内文を書く。</p> <p>4 推敲して清書する。</p> <p>5 相手の立場になって案内文を読み合う。</p>	<p>【知識・技能】比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【態度】すすんで集めた情報を整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。</p>
四	持続可能な未来を創るために——人の暮らし方を考える／「エシカル」に生きよう	3 (話聞 1 書 1)	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。 	<p>1 SDGsの紹介、SDGsに関する資料を参考に、「最初の『問い』」を考える。</p> <p>2 「『エシカル』に生きよう」を読み、「次の『問い』」について整理する。</p> <p>3 「プロローグ」を再読し、「最後の『問い』」について話し合い、自分なりの考えを書く。</p>	<p>【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。C(1)オ</p> <p>【態度】粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、今までの学習を生かして本や資料をもとに考えを深めようとしている。</p>
	森には魔法つかいがある	5 (書 1)	<ul style="list-style-type: none"> ● 必要な情報に着目して、調べたり考えたりしながら読む。 	<p>1 「学びナビ」を読んだあと、序論で筆者が示した問いを見つけ、全文を通読して筆者がどのように答えを見つけていったのか、教科書P87上段の空欄を補うことで全体の構造を捉える。</p> <p>2 第1時で完成したP87の内容を踏まえて、筆者がどのような取り組みや研究をとおして問いの答えを見つけていったのか、筆者がたどった問題解決の道筋を整理する。</p>	<p>【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果(特に論理の構成)について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ● 問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。 ● 筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にしながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。 	<p>3 本文の内容を理解するために重要な語句を取り出し、国語辞典や辞書などを使って必要なことを調べる。</p> <p>4 調べたことを説明するために資料を作り、本文中の図や写真、調べたことなどを使ってわかりやすく説明する。</p> <p>5 「森と川と海は一つなのだ。」という筆者の考えを踏まえて、根拠を明確にしながら自分の考えを書き、考え方や表現の仕方を読み合う。</p>	<p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。C(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。B(1)オ</p> <p>【態度】粘り強く文章の論理の展開について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことをまとめようとしている。</p>
文法の小窓2 文の成分	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。 	<p>1 教科書P98『文法の小窓2』を読んで、文の成分どうしの関係を考えるとともに、教科書P275～276を読んで文の成分とは何かを理解し、主語・述語について理解する。</p> <p>2 教科書P277～278を読んで、修飾語・接続語・独立語について理解する。</p> <p>3 教科書P278～279を読んで、文の成分を組み立てる並立の関係・補助の関係について理解するとともに、文の組み立ての分析を行う。</p>	<p>【知識・技能】文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。2年(1)オ</p> <p>【態度】すすんで文の構成に興味・関心を抱き、文の成分の種類とはたらきを理解して、文の構成について理解を深めようとしている。</p>
【書く】 根拠を明確にして意見文を書く	書5	<ul style="list-style-type: none"> ● 意見と根拠の関係を理解する。 ● 根拠をはっきりさせて、意見文を書く。 	<p>1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解したうえで、伝えたいテーマを選ぶ。</p> <p>2 選んだテーマについて根拠を考えたり、資料を探したりする。</p> <p>3 根拠を明確にして自分の考えを書く。</p> <p>4 推敲する。</p> <p>5 書いた文章を生徒どうして読み合い、根拠を確認し合う。</p>	<p>【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ</p> <p>【態度】すすんで根拠が明確な文章になるように工夫し、学習課題にそって自分の考えたことを書こうとしている。</p>
広告の情報を考える	2 (書1)	<ul style="list-style-type: none"> ● 広告を見るとき視点を知り、広告の特徴について理解する。 ● 目的に応じて言葉と画像を組み合わせ、広告を作る。 	<p>1 「学びナビ」を読み、広告の「工夫」について考える。教科書P103の広告にどのようなメッセージがこめられているかを考える。P104の二つの広告を比べて、広告を構成する要素を具体的にあげ、共通点や相違点を整理し広告の「工夫」について理解を深める。</p> <p>2 P105の写真から一枚を選び、ポスターを作成する。作ったポスターを見せ合い、「工夫」について確認し合う。</p>	<p>【知識・技能】比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している。C(1)ウ</p> <p>【態度】積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべきことを整理して書こうとしている。</p>
五 昔話と古典	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる。 	<p>1 古典の仮名遣いに注意して川柳を読む。昔話を読んだり聞いたりの経験話し合い、古典の世界に興味・関心をもつ。</p>	<p>【知識・技能】古典には様々な種類の作品があることを知っている。(3)イ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ</p>

				【態度】昔話に関する知識を手がかりに本文をすすんで読み、新しく知ったことについて話し合いの場で発言しようとしている。
物語の始まり	4	<ul style="list-style-type: none"> ● 古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。 ● 『竹取物語』について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 『竹取物語』について知っていることを発表したり、前半部を通読したり音読したりする。 2 後半部を通読したり音読したり、歴史的仮名遣いに注意しながら原文をノートに書き写したりする。 3 『竹取物語』について調べ、絵本などの「かぐや姫」と『竹取物語』の異なる点を文章にまとめたり、話し合ったりして、そのおもしろさを考える。 4 現代語とは違う意味で用いられている語や、現代語ではあまり用いられない語、現代語と同じ意味の語をあげ、古典の言葉と現代語のつながりについて考える。 	<p>【知識・技能】音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ</p> <p>【態度】積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。</p>
故事成語	3	<ul style="list-style-type: none"> ● いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 ● 漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「矛盾」の盾と矛を売る人の話でつじつまの合わない点について考え、発表する。また、「助長」の意味を国語辞典と漢和辞典とでそれぞれ調べ、現在どのような意味で使われているか確認する。 2 「矛盾」と「助長」の書き下し文をノートに書き写したり音読したりして漢文訓読のきまりを理解する。また、漢文の読み方をもとに、いろいろな二字熟語や四字熟語の意味を説明する。 3 いろいろな故事成語の意味や由来を調べ、それを使った短い文を書き、発表する。 	<p>【知識・技能】音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ</p> <p>【態度】すすんで音読に必要な訓読の仕方を知り、学習の見通しをもって文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。</p>
蜘蛛の糸	3	<ul style="list-style-type: none"> ● わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 全文を通読し、物語のあらすじを捉える。 2 『蜘蛛の糸』以外の近代小説を読む。 3 近代小説についての紹介文を書き、意見を交換する。 	<p>【知識・技能】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ</p> <p>【態度】すすんで読書が考えを広げることに役立つことを理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝えようとしている。</p>

六	河童と蛙	1	●場面と描写を結びつけて読む。	1 「学びナビ」を読み、オノマトペの効果について理解し、詩の登場人物の役割を捉え、作品の世界を生かすように朗読する。	【知識・技能】 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ 【態度】 すすんで表現の技法を理解するとともに、詩を読んで考えたことを伝えようとしている。
	オツベルと象	7	●語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 ●場面と描写に着目して作品を読み、内容を解釈する。 ●作品の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考える。	1 「学びナビ」を読み、作者と語り手について理解する。 2 全文を音読し、擬声語・擬態語の使われ方の特徴とその効果を考える。 3 「オツベル」と「白象」はどのような人物として描かれているか、会話部分に着目しながらまとめる。 4 「第一日曜」「第二日曜」のできごとと、「第五日曜」のできごとから、共通点と相違点を比べる。 5 「ああ、ありがとう。ほんとに僕は助かったよ。」(教科書P162L7)と、白象が「寂しく笑って」言った理由について発表し合い、文章にまとめる。 6 「第一日曜」「第二日曜」と「第五日曜」では、牛飼いの語り方が変化していることを踏まえ、牛飼いがどのような気もちでこの物語を語ったのかを考える。 7 『オツベルと象』についてグループごとに感想を述べ合い、交流したうえで、発表する。	【知識・技能】 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととともに、擬声語・擬態語への理解を深めることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ 【態度】 粘り強く表現の効果について根拠を明確にして考えるとともに、作品を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
	【書く】 随筆を書く	書 4	●身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。	1 身近に起こったこと、経験したことなどを思い浮かべ、そこから新しく発見したことやそのことの意味を考え、随筆に書く内容を決める。 2 読み手をひきつけるような文章の展開を考える。教科書P165を読み、随筆にふさわしい表現があることを理解したうえで、最も適切な言い回しを意識しながら随筆を書く。 3 季語辞典、類語辞典などを用いて、よりふさわしい言い回しがないかを考えながら推敲する。 4 書いた随筆を生徒どうしで読み合い、工夫した言い回しを確認し合う。	【知識・技能】 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ 【態度】 粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
	言葉の小窓 2 日本語の文字 言葉（解説） 2 日本語の文字	1	●日本語を書き表す文字の特徴を理解する。	1 教科書P166『言葉の小窓2』を読んだあと、P264～267 までを読み、日本語を書き表す文字の特徴について理解する。	【知識・技能】 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ 【態度】 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。

七	子どもの権利	4 (話 聞 1)	<ul style="list-style-type: none"> ●専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。 ●論理の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。 ●自分の経験と関連づけて読み、自分の考えをまとめる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学びナビ」を読んだあと、『子どもの権利』全文を通読し、教科書P171の空欄を補って完成させる。 2 完成したP171を手がかりに、本文の内容を理解する。 3 完成したP171を手がかりに本文の展開を確認し、筆者の説明の仕方の特徴を理解する。 4 筆者の主張を踏まえ、知識を学ぶことや教育を受ける権利について考えたことを話し合う。 	<p>【知識・技能】事象や行為を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。A(1)イ</p> <p>【態度】粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。</p>
	【話す聞く】 調べた内容を聞く	話 聞 3	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えと比較し、その共通点や相違点を踏まえて、考えをまとめる。 ●相手の話を聞いて記録したり、質問したりしながら内容を捉える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学びナビ」を読み、「予想する」ことについて理解する。グループごとに「調べたこと」と「考えたこと」を整理して課題を確認し、解決方法と結果を予想する。 2 教科書P181の報告例を参考にして、グループの考えをまとめる。他のグループの報告を聞き、共通点や相違点を見つけて質問する。 3 第2時を踏まえて、グループの考えをまとめ、考えがどのように変わったかを考える。 	<p>【知識・技能】事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。A(1)エ</p> <p>【態度】積極的に共通点や相違点を踏まえて考えをまとめ、学習の見通しをもって報告を聞いて質問しようとしている。</p>
	漢字の広場 3 漢字の音と訓	1	<ul style="list-style-type: none"> ●漢字の音と訓についての理解を深める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 漢字がそれぞれにもつ「音」と「訓」、二つの読み方の違いに注目し、その使い分けや留意すべき特質について理解を深め、練習課題を通じて知識の定着を図る。 	<p>【知識・技能】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ</p> <p>【態度】積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。</p>
八	言葉がつながり世界遺産／地域から世界へ	5	<ul style="list-style-type: none"> ●問いと答え、事実と意見の関係を捉える。 ●事実と意見の関係、文章の構成や展開に注意して読む。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学びナビ」を参考に、学習の見通しを立て、全文を通読し、筆者が問いかけている文と、その答えにあたる文を探し、事実と意見を整理しながら筆者の意見を捉える。 2 日光の社寺の世界遺産に推薦されるようすばらしさについて、イコモスの専門家を驚かせた点をまとめる。 3 「修復記録の蓄積」と「世代を超えた技術の伝承」に対して、「言葉」の使われ方、果たす役割についてまとめる。 4 筆者の言葉に対する捉え方について話し合い、題名にこめられた筆者の思いに対する自分の考えをまとめる。 	<p>【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(1)オ</p>

		み、筆者の考えを捉える。 ●筆者の考えについて、自分の考えをまとめ、理解を確かにする。	5 本文中で人物の語りが「 」の形で引用されていることは、どのような効果をもたらしているかを考える。	【態度】粘り強く理解したことに基づいて考えを確かなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。
【書く】 読み手を意識して報告文を整える	書 4	●要点を簡潔にまとめる。 ●読み手の立場に立って、文章を整える。	1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解する。報告文のテーマを決め、テーマに関わるデータを集める。 2 集めた調査結果を読み取り、書く順序を考える。 3 図表から読み取れることなどを中心に報告文を書く。 4 推敲して完成させる。完成した報告文を生徒どうして読み合う。	【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ 【態度】積極的に読み手の立場に立って叙述の仕方などを確かめるとともに、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。
文法の小窓 3 単語のいろいろ 文法（解説）3 単語のいろいろ	3	●自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。	1 教科書P222『文法の小窓3』を読み、単語は品詞というグループに分けられることを理解する。加えて、単語が自立語と付属語とに分けられることを理解する。 2 活用のある単語と活用のない単語の区別を理解したうえで、文の中でののはたらきによって十の品詞に分けられることを理解する。自立語について理解する。 3 付属語について理解する。品詞分類表によつての品詞分類の全体像を把握し、具体的な文例に即して言葉を分けて考えることの大切さを理解する。	【知識・技能】単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ 【態度】すすんで単語の類別について理解を深め、今までの学習を生かして言葉を分けて考えることの大切さを理解しようとしている。
【話す聞く】 発言を結びつけて話し合う	話 聞 4	●話題を意識して話し合い、発言を結びつける。 ●いろいろな意見を整理し、自分たちの感想や考えをまとめる。	1 「学びナビ」を読んで、「総括する」ことについて理解する。グループで意味を定義する言葉を決め、文例を探したり作ったりする。 2 教科書P225 の話し合いの例を参考にして、言葉の意味をどのように定義するかグループで話し合う。 3 第2時のグループの話し合いを深め、さまざまな意見を整理して言葉の定義を決める。 4 言葉の定義が、これまで話し合った内容と合致したものとなっているかをグループで確認する。	【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。A(1)オ 【態度】すすんで互いの発言を結びつけて考えをまとめ、学習の見通しをもってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。
漫画で「物語」を表現する	2	●漫画の表現の特徴について理解する。 ●漫画の中の絵と言葉との関係を捉え、読み手に対する	1 「学びナビ」P226 上段を読んで、漫画の「工夫」について考える。教科書P226下段とP227を読み、漫画の「工夫」について理解する。またP228 の活動をとおして、漫画のコマの並び方の効果を確かめる。 2 P229 の漫画の絵柄や言葉を比較し、作品の解釈や読み手への意識と漫画の絵柄や言葉との関係について考える。	【知識・技能】比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。C(1)ウ

			効果を考える。		【態度】積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべきことを整理して書くようとしている。
	漢字の広場 4 熟語の構成	1	●熟語の構成の基本的な型を知る。	1 複数の漢字を組み合わせて作り出される言葉を「熟語」と呼ぶことを確認し、身近な例を取り上げ、構成法によって意味や内容が大きく変わることに気づく。教科書にあげた構成法の各型に関する理解を深める。三文字以上の熟語の構成法についてグループ学習で確認する。日常生活の中から七つの型にあてはまる熟語を探す。	【知識・技能】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【態度】積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
九	四季の詩	2 (書1)	●それぞれの詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。	1 それぞれの詩のイメージを想像し、どのような季節感が描かれているか話し合う。 2 教科書P238を読み、詩を創作する。	【知識・技能】比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ 【態度】すすんで描写をもとに捉えるとともに、今までの学習を生かして詩を創作しようとしている。
	少年の日の 思い出	7	●語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意する。 ●場面の展開や登場人物の心情の変化を、描写に基づきながら捉える。 ●語り手に着目して作品を読み、意見を交流するなどして、自分の考えを確かなものにする。	1 「学びナビ」を読み、作品の語り方と構成を捉える。 2 全文を通読し、あらすじを捉える。 3 現在の場面と回想場面のできごとを整理する。 4 「僕」と「エーミール」のチョウに対する考え方の違いを捉え、「エーミール」に対する心情の変化をノートにまとめる。 5 「僕」と「エーミール」はお互いのことをどう思っているかを捉え、盗みを犯した理由を考える。 6 「僕」がチョウをこなごなにした理由を話し合う。 7 「自分の考えを伝え合おう2」の課題について話し合いながら、語り手について考える。	【知識・技能】事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係（特に語りと構成について）、また心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(1)オ 【態度】粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えるとともに、見通しをもって小説を読んで考えたことを伝えようとしている。
	言葉の小窓 3 方言と共通語	1	●方言と共通語の特徴について知る。	1 教科書P257『言葉の小窓』を読んだあと、P268～269を読み、方言についての内容を理解する。P271「考えてみよう(1)」に取り組む。P270～271上段までを読み、方言の歴史やさまざまな方言について理解する。P271下段「方言と共通語の使い分け」を読み、「考えてみよう(2)」で調べたことを踏まえて、方言と共通語の使い分けについて考える。	【知識・技能】共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ 【態度】すすんで共通語と方言について調べ、学習の見通しをもって共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。

	言葉（解説）3 方言と共通語			
--	-------------------	--	--	--

※本表に記載のない教材については、適宜扱う。